



錬が実を結び

世界選手権で堂々の優勝

北原亮太さんの優勝をはじめ、川根支部から出場した7人の選手全員が入賞の快挙

NPO法人日本空手松涛連盟川根支部（支部長：上中通寿）



「押オス忍！」

道場に、子どもたちのかけ声と衣擦れの音が響いています。

NPO法人日本空手松涛連盟川根支部には、毎回真剣な表情で練習に打ち込む生徒たちの姿があります。



4月21日から22日にかけて開催された「世界空手道選手権大会（主催：NPO法人日本空手松涛連盟・会場：沖縄県）」。

世界32カ国から約5000人の選手が集い、型と組手の部に分かれて熱戦を繰り広げました。

川根支部から出場した7人の選手は、それぞれ激戦を勝ち抜き、結果、すべての選手が入賞を果たすという素晴らしい成績を収めました。日頃の厳しい練習が、実を結んだ瞬間でした。



5月2日、大会の結果報告のため杉山町長のもとを訪れた上中通寿川根支部長と7選手。

この席上で上中さんは「これまで全国大会でもこれほどの成績を残したことはなく驚いています。選手たちが一生懸命取り組んだ成果です」と話しました。

大会結果

敬称略

9～10歳男子 女子	型の部 型の部 組手の部	山中裕斗 坂下くるみ 池本夢実 坂下くるみ	中川根南部小5年 本川根小5年 本川根小5年 本川根小5年	敢闘賞（6位） 準優勝 3位 準優勝
11～12歳男子 女子	型の部 組手の部	北原亮太 山中友貴	中川根中1年 中川根南部小6年	優勝 敢闘賞（ベスト8）
13～14歳男子 一般女子	組手の部 型の部	山本恭平 落合祥子	本川根中3年 川根本町在勤	準優勝 敢闘賞（4位）

日頃の鍛 空手



杉山町長は

「日本の代表

として良く頑
張ってくれま

した。今回の成績は、目標に向
けて真剣に取り組んだみなさん
の努力の表れでしょう。練習で
身についた礼儀作法などは、空
手を離れた日常生活にも良い影
響を与えるものと思います。こ
れからもたくさんの経験を積ん
で精進してください」と言葉を
贈りました。



川根支部道場では、小さな子
どもから一般の大人の生徒まで
幅広い年齢層の人が練習に励ん
でいます。

ある50歳代の生徒さんに話を
聞くと「練習はハードですが、
体力づくりと健康のため通って
いて、良い汗を流しています。
子どもたちの動きは速く、一緒
に組手をやると負けてしまうこ
ともあるんです」と話してくれ
ました。

「空手という個人競技のよ
うに思われがちですが、道場の
連帯感や結束力も非常に大切で
す。日頃からチームワークを高
め、良い雰囲気の中で練習でき
るよう、ムードづくりなどにも



優勝した北原亮太さん

気を配っています」と上中さん
は言います。



道場をお邪魔した時の、子ど
もたちの元気なあいさつ。目標
に向けて、休憩時間も惜しんで
練習に励む生徒たちの姿。
ここから「世界1位」が生ま
れました。

道場では、今日も生徒たちの
大きな声がこだましています。



入賞されたみなさんと記念撮影

前列左から：山中友貴さん、坂下くるみさん、池本夢実さん、山中裕斗さん、北原亮太さん
後列左から：杉山町長、落合祥子さん、山本恭平さん、上中通寿支部長